

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	デッサン5	
科目基礎情報					
開設学科	CG映像科	コース名		開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	45時間
単位数	1単位			授業形態	実習
教科書/教材	適宜資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	松永 治空		実務経験の有無・職種	有・イラストレーター、画家	
学習目的					
CGを制作する際の造形的な基本であるデッサン力と観察力を養うことを目的とする。事物を明暗・構造等でとらえ直し、視覚的な情報として再構築できるようになること、これが表現者としての共通言語となることを理解する。自分のCG作品をどのような形で演出し形象を取捨選択するかを考察する力をつけること。また対象（モチーフ）をくり返し客観的に描く練習を重ねることで、他者の視点で自分の作品を見つめ直すことが出来ることも目的とする。					
到達目標					
この科目では、実際のモチーフを、主に鉛筆を使用し二次元画面に立体的に表現出来るようになることを目標とする。様々な形態や質感を持つ工業製品や自然物、およびモデルや自分自身などの人体をよく観察して描くことで解剖学的・構造的に理解し、モデリングやアニメーションをはじめとしたCG制作に役立てること。また、一枚のデッサンを制作する際の構図、光、質感表現などを通じて作品の絵作り、見せ方の基本を学ぶ。					
教育方法等					
授業概要	モチーフやモデルを鉛筆でデッサンすることを中心に行う。透視図法を基にした空間・立体表現、より緻密に観察した質感表現を体得する。1・2年次で獲得した基本的描写力をもとに、人体・石膏像・複雑な静物モチーフなどにチャレンジし、アピール度の高い作品制作に臨む。				
注意点	鉛筆は授業前に削っておく。 形態の捉え方、画材の使い方などは教員の指導を良く参考にすること。全課題提出が原則。 授業時数の4分の3以上出席しない者は評価しない(不合格とする)。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	80%	完成した作品の完成度・課題への到達度について評価する		
	小テスト	0%	実施しない		
	レポート	0%	実施しない		
	成果発表 (口頭・実技)	0%	評価しない		
	平常点	20%	積極的な制作態度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	課題1 石膏像クロッキー		各種石膏像を速描し、短時間で形や動きの特徴を捉える		
2回	課題2 組石膏像		数種の石膏像を配置し、その空間や関係性を描けるようになる		
3回	課題2 組石膏像		数種の石膏像を配置し、その空間や関係性を描けるようになる		
4回	課題2 組石膏像		数種の石膏像を配置し、その空間や関係性を描けるようになる		
5回	課題3 大型静物		大型で複雑なモチーフの空間やその世界観を描けるようになる		
6回	課題3 大型静物		大型で複雑なモチーフの空間やその世界観を描けるようになる		
7回	課題3 大型静物		大型で複雑なモチーフの空間やその世界観を描けるようになる		
8回	課題4 手、構成モチーフなど		手の構造や動きを理解しより完成度の高い表現が出来るようになる		
9回	課題4 手、構成モチーフなど		手の構造や動きを理解しより完成度の高い表現が出来るようになる		
10回	課題5 有色デッサン		有色下地にコンテを用いて、透明感のある表現が出来るようになる		
11回	課題5 有色デッサン		有色下地にコンテを用いて、透明感のある表現が出来るようになる		
12回	課題6 人体デッサン		人体のプロポーション、ポーズの動きを正確に表現出来るようになる		
13回	課題6 人体デッサン		人体のプロポーション、ポーズの動きを正確に表現出来るようになる		
14回	課題7 風景デッサン		校舎内風景も含む新鮮な視点で風景を表現できるようになる		
15回	課題7 風景デッサン		校舎内風景も含む新鮮な視点で風景を表現できるようになる		